



非鉄金属材料の耐候性評価

非鉄金属材料の耐候性を促進試験にて迅速に評価いたします。

当社の耐候性評価の特長

- 非鉄金属材料について、ACTE[®]や複合サイクル試験を用いることにより実際に近い耐候性評価が可能です。
- ACTE[®]や複合サイクル試験は促進試験のため、大気暴露試験に比較して短い時間で評価することができます。
- ACTE[®]や複合サイクル試験のほか、各種の促進試験での耐食性評価も可能です。

Cu合金の耐候性評価

- 複合サイクル試験(JASO M609-91のサイクル条件)によりCu合金の耐候性評価が可能です。
- 複合サイクル試験では大気暴露試験において発生する緑青をよく再現しています。
- 複合サイクル試験は大気暴露試験に比べ高い促進効果があります。図2の試験例では、18倍以上の速度で腐食が進行しています。
- 複合サイクル試験は鉄鋼材料の耐候性試験法として長年の実績のある腐食試験法です。

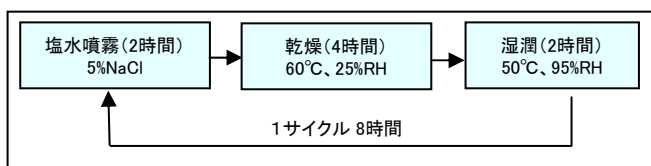


図1 複合サイクル試験(JASO M609-91)の試験条件

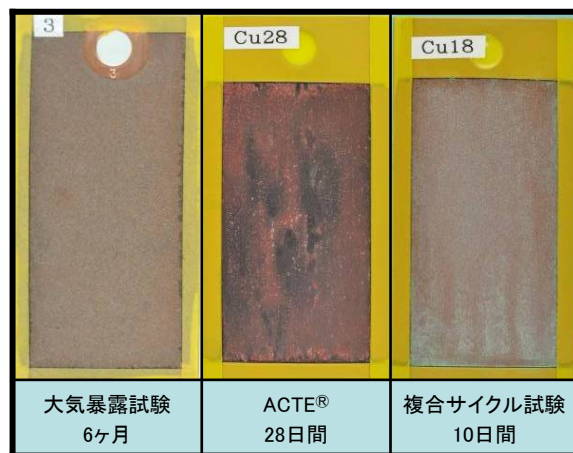


図2 Cu合金(C1020P)の各種耐食性試験の比較

Mg合金の耐候性評価

- 耐食性試験ACTE[®](Accelerated Corrosion Test for Electric Appliances)によりMg合金の耐候性評価が可能です。
- ACTE[®]は大気暴露試験におけるMg合金の腐食形態をよく再現しています。
- ACTE[®]は大気暴露試験に比べ高い促進効果があります。図4の試験例では、約6倍の速度で腐食が進行しています。
- ACTE[®]は家電製品に使用される亜鉛めっき鋼板の耐候性をよく再現する方法として開発された腐食試験法です。

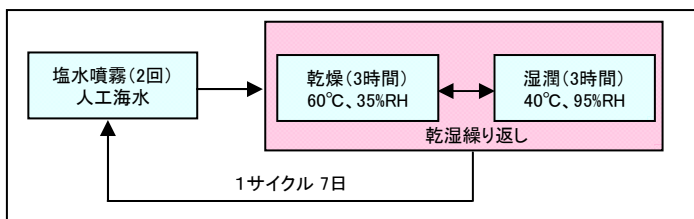


図3 ACTE[®]の試験条件

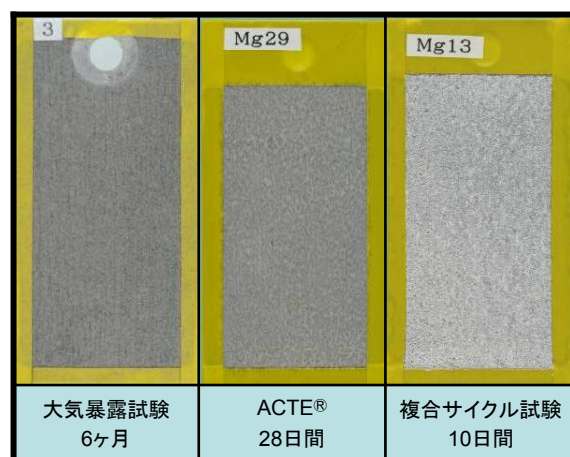


図4 Mg合金(AZ31)の各種耐食性試験の比較

ACTE[®]はJFEスチール(株)の登録商標です。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2012 - 2014 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。